

令和 2 年 5 月 7 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2019

課題番号：26284004

研究課題名(和文)ドゥルーズ研究の国際化拠点の形成

研究課題名(英文)Formation of Deleuze Studies network inJapan

研究代表者

檜垣 立哉 (HIGAKI, TATSUYA)

大阪大学・人間科学研究科・教授

研究者番号：70242071

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は日本におけるドゥルーズおよびドゥルーズ＝ガタリ研究の国際化を目指すため、とりわけ2014年度に大阪大学でおこなわれたDeleuze inAsia Conferenceの開催およびそれにつづくドゥルーズ関係の各種国際シンポジウムへの参加やその設定、これによる日本の哲学者の国際的連携の強化促進を目録誌手おこなわれた。その成果は『ドゥルーズの21世紀』河出書房新社などにおいて公開しておいた。また若手の研究者の国際発表の促進など多くの成果を残したと考えられる。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究は、日本語あるいはフランス語での発表にとどまりがちであった現代フランス思想研究を、とりわけ英語のほかに、国際学会および論文投稿において国際化することを促進し、あわせて若手の研究者に海外連携の機会を与えることを主眼とするものであった。本研究を通じてフランスや英米圏のみならず、アジア諸国やブラジルなど南米圏にもおよぶ、フランス哲学研究のネットワークが形成された。本研究はより広く今後の研究の、欧米圏に限定されない展開を目指すものである。

研究成果の概要(英文)：The aim of this study is to internationalize the Japanese Studies on Deleuze and Guattari, not only to the European world but also to the Asia or South America, etc. By the budget of this study we participate many international conferences on Deleuze and Guattari, and organize some workshops or conferences on them. We published the book entitled 'Deleuze on 21st century' in Kawade-shobo-shinsya. And we send many younger PhD students to the international conferences. Some papers are published in Deleuze=Guattari Studies in Edinburgh University Press.

研究分野：哲学

キーワード：ドゥルーズ フランス哲学

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

本研究はドゥルーズ哲学研究の国際化を目指して計画されたものである。研究の開始年である2014年にはDeleuze Studies in Asia Conferenceが大阪大学で開催されることになっており、このために、海外研究者の招へいやシンポジウムの開催などが必要であった。また本研究は、フランス哲学研究の枠内にはいりながらも、すでに英米圏やアジア圏などで広く読まれているドゥルーズおよびドゥルーズ＝ガタリの研究との国際的な連携を果たし、それを提示するべき時期にさしかかっていることをそのおもな背景としたものであった。

アジアにおける研究はこののちに急速に発展し、例年シンポジウムが開かれることになった。また南アメリカ圏、とりわけブラジルではガタリの草稿が解読されるなど独自の動きをおこなうことがみうけられた。日本の研究は世界的にみても最初期からきわめて内容の濃いものであったが、フランスとのつながり以外の諸国との連関が強いとはいえ、これを期としておおきくその国際的なプレゼンスを拡大する必要にも迫られていた。

2. 研究の目的

ドゥルーズ研究の国際化とそのネットワーク化を目指した本研究は、日本国内もしくはフランスと日本という関係性の中に閉じこもりがちであったドゥルーズの研究を、英米圏における英語雑誌への投稿や欧米圏ではない、南アメリカやアジアの研究者などを中心としてネットワークを形成し、そもそも高い水準にあった日本における研究を、世界に押し広げていくことを目的としたものである。現代思想や現代哲学がグローバル化の波にのみこまれていくときに、そのありかたを一層激化させるとともに、むしろ固有の日本初の研究様式をいち早く海外に提示する必要が感じられたのと同時に、欧米圏だけではなく南アメリカやアジアの研究者とのこれまでになかった緊密な連携を図り、日本の研究という枠組みや、日本とフランスとの関係というつながりを超えた研究を推進することがその目的として提示された。

3. 研究の方法

研究期間のうちに、Deleuze Studies in Asia Conferenceは日本で2014年度の大阪大学と2019年度の東京大学で二度にわたって開催されたが、それらのみならず、Deleuze Guattari Studies Conferenceという欧米を中心に開催される学会に、研究代表者および分担者が連続して参加発表し、日本におけるドゥルーズ研究の国際化を図るとともに、同時に若手の研究者の派遣などもおこなった。また途中には、インドにおいてDeleuze India Collectiveが開催されるなど、ドゥルーズ研究を巡る世界的状況は多様性を増し、それぞれに発表者などを派遣し、また研究者を招へいして日本でもワークショップを例年のように開催するなどをおこなった。同時に、下記の研究成果でも強調するように、ドゥルーズ研究の代表的な雑誌であるDeleuze Guattari Studiesに大阪での国際会議のキーノートスピーカーも原稿を査読つきで掲載するとともに、さまざまな媒体における若手研究者の投稿も促した。またこうした研究連関を機縁として、学部間協定や共同ラボを形成する準備をおこなうことをめざした。

4. 研究成果

大変おきな成果といえるものは、まずもって2014年にDeleuze Studies in Asia Conferenceを開催し、Deleuze Guattari Studies, Edinburgh University Press.2018年のVol12-2に2014年の大阪大学でのキーノートスピーカの特集を掲載することができたこと、また日本語に於ける総括的な書籍として『ドゥルーズの21世紀』檜垣立哉・小泉義之・合田正人編 2019年を刊行できたことがあげられる。またこの科研を利用して3年間にわたり年末にワークショップを開催し、アジアの研究者を招へいし、また多くの若手の研究者に発表の場を与えたということ、さらには大阪大学において、ほぼ毎年のように海外研究者を招へいし、国際化の実質化に勤めたということがある。檜垣は2015年に開催されたフランスのスリジー・ラ・サールのドゥルーズを巡るコロックに参加し、その成果はフランス語により刊行されている。またこの間、檜垣立哉『ドゥルーズ 解けない問いを生きる 増補新版』2019 ちくま学芸文庫、小泉義之『ドゥルーズの霊性』河出書房新社2019年 近藤和敬『内在の哲学へ カヴァイエス・ドゥルーズ・スピノザ』青土社2019年などのドゥルーズにかんする代表者および分担者による数多くのドゥルーズに関連した書籍が刊行されていることがあげられ、國分功一郎の『ドゥルーズの哲学原理』の英訳本(Edinburgh University Press)の刊行などもあり、今後の日本の研究の国際的な連携および提示に道筋をつけたといえる。

このほかにも本研究と強く関わるものとして

合田正人『思想史の名脇役たち』河出書房新社2014

同上『フラグマンテ』法政大学出版局2014

上野修『スピノザ』神学政治論』を読む』講談社2014

多くの関係者寄稿した『ドゥルーズ 歿後20年 新たなる展開』河出書房新社2015

檜垣立哉・山崎吾郎訳 ヴィヴェイロス・デ・カステロ『食人の形而上学 ポスト構造主義的人類学への道』洛北書店2015年

國分功一郎監訳 ジル・ドゥルーズの「アベセデー」 (<DVD>)河出書房新社 2015
TatsuyaHIGAKI, Deleuze and Buddhism, Palgrave, 2016
上野修、米虫正巳、近藤和敬編『概念の倫理・主体の論理 20世紀フランスのエピステモロジー
とスピノザ主義』 2017
國分功一郎『中動態の世界 意志と責任の考古学』医学書院 2017
檜垣立哉・小林卓也訳 ドゥルーズ『ベルグソニズム』法政大学出版局 2018
國分功一郎他訳 ドゥルーズ『基礎づけるとは何か』ちくま学術文庫 2019
千葉雅也『意味がない無意味』河出書房新社 2019
などをあげることができる。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計51件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 46-6
2. 論文標題 哲学のパロック	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 現代思想 青土社	6. 最初と最後の頁 8,15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HIGAKI, Tatsuya	4. 巻 12-2
2. 論文標題 Japan as Thousand Plateau	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Deleuze and Guattari Studies, Edinburgh University Press	6. 最初と最後の頁 240, 251
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 2
2. 論文標題 助けることの哲学	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『助ける』シリーズ人間科学	6. 最初と最後の頁 1-21
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 KOIZUMI, Yoshiyuki	4. 巻 12 - 2
2. 論文標題 From Dreaming of Desert Islands to Reterritorialising Philosophy,	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Deleuze and Guattari Studies, Edinburgh University Press	6. 最初と最後の頁 268-282
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻
2. 論文標題 「生還者の自尊 善の希薄理論のために」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 井上彰編『ロールズを読む』ナカニシヤ出版	6. 最初と最後の頁 124-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 GODA, Masato	4. 巻
2. 論文標題 The Secret Journey of a Small Grammer. Spinoza in Centemporary French Philosophy	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Proceedings of the Third International Symposium of Judism. Judaism in Modern era, CISMOR Doshisya University	6. 最初と最後の頁 112-118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 GODA, Masato	4. 巻 1
2. 論文標題 Rhythm and Sense in the Philosophy of Emmanuel Levinas	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Minerva. Meiji Journal of Philosophy	6. 最初と最後の頁 23-31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬、野元達一	4. 巻 89
2. 論文標題 後期ドゥルーズ哲学における「脳」という問題設定についての試論」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 『鹿児島大学法文学部紀要人文学科論集』	6. 最初と最後の頁 57-97
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 1124
2. 論文標題 ヴィヴェイロス・デ・カストロにおけるドゥルーズ=ガタリ	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『思想』岩波書店	6. 最初と最後の頁 6.14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 1
2. 論文標題 後期資本主義のなかの哲学 中野幹隆とその時代 (1)	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『多様体』月曜社	6. 最初と最後の頁 321-331
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 14
2. 論文標題 西田とバロック哲学	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 京都大学日本史専修起用	6. 最初と最後の頁 84-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 6月臨時増刊号
2. 論文標題 「傷痕と再生」	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『現代思想』青土社	6. 最初と最後の頁 188-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Masato Goda	4. 巻 9
2. 論文標題 A Philosophy of ‘ ‘ Death Poems ’ ’	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The 9th CISMOR Conference on Jewish Studies(Doshisha University)	6. 最初と最後の頁 69-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉雅也	4. 巻 46 - 1
2. 論文標題 「ラディカルな有限性 思弁的实在論の一〇年とその後」	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 98-111
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatsuya HIGAKI	4. 巻 22-1
2. 論文標題 What is Minority, Who are the Minor People	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 The journal of Criticism and Theory, Korea	6. 最初と最後の頁 237-251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 698
2. 論文標題 九鬼とレヴィ = ストロー ス 二つの構造論的感性論	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『理想』	6. 最初と最後の頁 92-103
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 45 - 2
2. 論文標題 吉本隆明・記紀書・南島論	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 103-115
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 44 - 23
2. 論文標題 偶然性と永遠の今 現在性をめぐる九鬼と西田	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 132 - 147
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 44 - 20
2. 論文標題 木村敏と中井久夫 臨床とイントラ・フェストウム	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 265 - 277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tatusya HIGAKI	4. 巻 41-3,
2. 論文標題 Tetsuro Watsuji's Theory of Betweenness, with Focus on Two-Person Community	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 The Canadian Journal of communication	6. 最初と最後の頁 455-463
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 24
2. 論文標題 「異性愛批判の行方 支配服従問題の消失と再興」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 堀江有里他編『抵抗 としてのフェミニズム [生存学研究センター報告24]』	6. 最初と最後の頁 226-249
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 44(20)
2. 論文標題 「真理の探究における同伴者」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 226-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 なし
2. 論文標題 「反戦運動の破綻の後に ダーク・ドゥルーズに寄せて [応答2]」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 アンドリュウ・カルブ『ダーク・ドゥルーズ』大山載吉訳、河出書房新社	6. 最初と最後の頁 185-194
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬	4. 巻 44-18
2. 論文標題 「「内在の哲学」序説 知性の問題論的転回」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 192 ~ 213
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 6
2. 論文標題 「ハンス・ヨナスの生命哲学と心身問題」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『京都ユダヤ思想』	6. 最初と最後の頁 125-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 なし
2. 論文標題 「リクールとデリダ 「隠喩」 論争が拓いたもの」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『リクール読本』	6. 最初と最後の頁 104-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 114-5
2. 論文標題 アンチ・ナルシスの射程 ヴィヴェイロス・デ・カストロ『食人の形而上学』に寄せて	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想・青土社	6. 最初と最後の頁 306-310
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 なし
2. 論文標題 ドゥルーズ歿後二〇年の<世界的現在>	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『ドゥルーズ 歿後20年 新たなる展開』河出書房新社	6. 最初と最後の頁 25-33
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 1094
2. 論文標題 バロックの哲学 5 ホワイトヘッドバロック	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 思想・岩波書店	6. 最初と最後の頁 75-94
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 43-9
2. 論文標題 「自閉症のリトルネロへ向けて」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 現代思想・青土社	6. 最初と最後の頁 88-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 43-13
2. 論文標題 「写真的なもの領分 万物の救済と絶滅における」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 112-122
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 なし
2. 論文標題 「ドゥルーズ/ガタリにおける政治と哲学」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 市田良彦・王寺賢太編『現代思想と政治 資本主義・精神分析・哲学』（平凡社）	6. 最初と最後の頁 62-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 19
2. 論文標題 「肉」と「器官なき身体」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 メルロ = ポンティ研究	6. 最初と最後の頁 70-84
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 5
2. 論文標題 ミシェル・アンリにおけるスピノザの蝕	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『ミシェル・アンリ研究』	6. 最初と最後の頁 15-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 6
2. 論文標題 ハンス・ヨナスの生命哲学と心身問題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 『京都ユダヤ思想』	6. 最初と最後の頁 123-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osamu Ueno,	4. 巻 11
2. 論文標題 Distinction and the Substantial Union of Mind and Body in Descartes in Contradiction?,	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Philosophia OSAKA,	6. 最初と最後の頁 55-62
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 上野修	4. 巻 5
2. 論文標題 アンリとスピノザ、その近さと遠さ、	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『ミシェル・アンリ研究』	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉雅也	4. 巻 なし
2. 論文標題 「思弁的実在論と無解釈的なもの」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 大澤真幸編『岩波講座 現代 第七巻 身体と親密圏の変容』	6. 最初と最後の頁 107-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 千葉雅也	4. 巻 43-9
2. 論文標題 「バロック的前提から過少の言葉へ」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 現代思想・青土社	6. 最初と最後の頁 132-135
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬	4. 巻 44-5
2. 論文標題 「普遍的精神から、ネットワーク状のプシューケーでなく、特異的プシューケーへ：思考の脱植民地化とEndo-epistemologyへの転回のために」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 現代思想	6. 最初と最後の頁 266-281
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬	4. 巻 なし
2. 論文標題 「ドゥルーズに影響をあたえた哲学者たち 「プラトニズムの転倒」をめぐる」	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『ドゥルーズ 没後20年 新たなる展開』河出書房新社	6. 最初と最後の頁 34-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 1091
2. 論文標題 バロックの哲学第四章 ベンヤミンレゴリー論の拡がり	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『思想』岩波書店	6. 最初と最後の頁 117,134
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HIGAKI, Tatsuya	4. 巻 22
2. 論文標題 Theorie de la technologie chez MIKI	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 国際日本学研究選書 法政大学国際日本学研究所	6. 最初と最後の頁 215,241
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 檜垣立哉	4. 巻 19
2. 論文標題 デリダの生命 / 動物論	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 フランス哲学・思想研究、日仏哲学会	6. 最初と最後の頁 53,64
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 42(8)
2. 論文標題 人格障害のスペクトラム化	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 『現代思想』青土社	6. 最初と最後の頁 144-163
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 46(12),
2. 論文標題 暴力の性化と享楽化の此方(彼方)へ	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 『ユリイカ』青土社	6. 最初と最後の頁 171-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小泉義之	4. 巻 43(1)
2. 論文標題 物化せよ、存在者化せよ	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『現代思想』	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 合田正人	4. 巻 1080
2. 論文標題 レヴィナスとラカン スピノザの徴しもとに	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 『思想』岩波書店	6. 最初と最後の頁 288,308
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 UENO, Osamu	4. 巻 10
2. 論文標題 Ordinary and Usual Things, or Common Belief in Spinoza's Tractatus Theologico-Politicus	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 Philosophia Osaka	6. 最初と最後の頁 27-37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬	4. 巻 43-1
2. 論文標題 存在論をおりること、あるいは転倒したプラトニズムの過程的アイデア論	5. 発行年 2015年
3. 雑誌名 『現代思想』青土社	6. 最初と最後の頁 200-215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 近藤和敬・金森修	4. 巻 42-12
2. 論文標題 「科学批判学の未来」	5. 発行年 2014年
3. 雑誌名 『現代思想』青土社	6. 最初と最後の頁 126-144
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計39件（うち招待講演 14件 / うち国際学会 7件）

1. 発表者名 檜垣立哉
2. 発表標題 ドゥルーズとパース 連続性と記号
3. 学会等名 アメリカ哲学フォーラム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 The Concept of the “Continuum of Discontinuities” in the Later Works of Kitaro Nishida
3. 学会等名 ENOJP(ヨーロッパ日本哲学ネットワーク)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤和敬
2. 発表標題 「哲学と科学と芸術の共創を再開するために 後期ドゥルーズからベルクソンへ、外と直観」
3. 学会等名 日仏哲学会前日公募型ワークショップ：代表合田正人
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野修
2. 発表標題 決定論と近世哲学 自由について
3. 学会等名 神戸学院大学人文学会2018年度学術講演会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KOKUBUN, Kouichiro
2. 発表標題 Deleuze's imagination and the question of autism
3. 学会等名 The 6th International Deleuze Studies in Asia Conference, Anteo de Naga University, Philippines
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 Deleuze, Nishida, Differential Philosophy
3. 学会等名 Deleuze Studies in Asia Conference, シンガポール国立大学 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 Shozo Omori and the 'Place' of Appearing
3. 学会等名 Euporean network of Japanese Philosophy, Paris (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 The Power of Metals: The Materialism and Non-humanism of Deleuze and Guattari
3. 学会等名 Deleuze Collective in India, マドラス大学 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 Sur l' imagination chez Gilles Deleuze
3. 学会等名 ASPLF (フランス語圏国際哲学会) ブラジルリオデジャネイロ (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上野修
2. 発表標題 スピノザと人間ならざるもの
3. 学会等名 山口大学哲学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上野修
2. 発表標題 スピノザの真理概念
3. 学会等名 西日本哲学会第68回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 合田正人
2. 発表標題 西田幾多郎と「模倣」の問題 タルドへの小さな言及の破門
3. 学会等名 西田哲学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Masaya Chiba
2. 発表標題 Asignifying Rupture and Radical Finitude
3. 学会等名 Shinso Ito Center for Japanese Religions and Culture, University of Southern California,
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Koichiro KOKUBUN
2. 発表標題 The World of the Middle Voice
3. 学会等名 10th International Deleuze Studies Conference, Toronto,
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tatusya,HIGAKI
2. 発表標題 What is mnority
3. 学会等名 Deleuze in Asia Conference
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatusya,HIGAKI
2. 発表標題 Why is the Past Preserved in Itself ? : On the Multi-layeredness of Matter and Me
3. 学会等名 ベルクソン科研国際シンポジウム
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatusya,HIGAKI
2. 発表標題 Kuki and Levi-Strauss
3. 学会等名 European Netwaor of Japanese Philosophy
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatusya, HIGAKI
2. 発表標題 Shinji Sonmai 's Cinema and Deleuze
3. 学会等名 Deleuze collective in Ind
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kazunori KONDO
2. 発表標題 Desire and the other: From the viewpoint of a philosophy of immanence
3. 学会等名 The 3rd Conference on Contemporary Philosophy in East Asia (CCPEA2016)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤和敬
2. 発表標題 「ドゥルーズ×ガタリの「内在の哲学」とスピノザ主義あるいは方法としての概念の哲学 レヴィナスとの差異を最大化させるために」 ドゥルーズ科研第三回大会「ドゥルーズ×レヴィナス」
3. 学会等名 ドゥルーズ科研第三回大会「ドゥルーズ×レヴィナス」
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 合田正人
2. 発表標題 「《リズム》で読み直す近現代思想 ビシャから現代まで」
3. 学会等名 立命館哲学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tatsuya HIGAKI
2. 発表標題 Deleuze and Technology
3. 学会等名 Deleuze Studies in Asia Conference, india (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tatsuya HIGAKI
2. 発表標題 De la metallurgie au cyborg.
3. 学会等名 DELEUZE : VIRTUEL, MACHINES ET LIGNES DE FUIITE (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Tatsuya HIGAKI
2. 発表標題 Neo-Kantianism, Differential philosophy and Kyoto-School,
3. 学会等名 he First Annual Conference of ENOJP (国際学会)
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 上野修
2. 発表標題 スピノザ『政治論』翻訳をめぐる "jus"をめぐる若干込み入った事情
3. 学会等名 第64回スピノザ研究会,
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Masaya.Chiba
2. 発表標題 Materiality in Limbo
3. 学会等名 2015 Asia Theories International Symposium, Waiting: Time / Theory / Action in Global Asias
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Masaya.Chiba
2. 発表標題 The Deleuzean Negativity Revisited,
3. 学会等名 Deleuzean Aftereffects
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 Kazunori Kondo
2. 発表標題 Topos of the Simulacrum Reading Deleuze from "the Overturning of Platonis
3. 学会等名 Deleuzean Aftereffects
4. 発表年 2015年

1. 発表者名 HIGAKI,Tatsuya
2. 発表標題 Japan as Thousand Plateau
3. 学会等名 Deleuze Studies in Asia Conference,Osaka,2014 (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 HIGAKI, Tatsuya
2. 発表標題 Deleuze and the Question of Technology
3. 学会等名 Society for Social Studies of Science
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 GODA, Masato
2. 発表標題 Eternel retour d' il y a.
3. 学会等名 Colloque international de philosophie : le retour de la sagesse du ciel sur la terre (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 合田正人
2. 発表標題 「肉」と「器官なき身体」
3. 学会等名 メルロ＝ポンティサークル第20回大会(招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 合田正人
2. 発表標題 「縁から縁 ジャック・デリダとジル・ドゥルーズ」
3. 学会等名 「ジャック・デリダ没後10年記念シンポジウム」(招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 UENO, Osamu
2. 発表標題 The Infinite without View, Eternity without Memory : Spinoza in contrast with Leibniz
3. 学会等名 De Vereniging het Spinozahuis (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 上野修
2. 発表標題 まなざしなき無限、記憶なき永遠 スピノザの奇妙な形而上学
3. 学会等名 日本哲学会 (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 KONDO, Kazunori
2. 発表標題 Science Theory of Deleuze. "Overturn Platonism" for "Question-Being"
3. 学会等名 The 2nd Deleuze Studies in Asia Conference 2014 in Osaka, (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 CHIBA, MASAYA
2. 発表標題 "Desert Island and "Friday" : An Approach to the Problem of Alterity in Deleuze
3. 学会等名 The 2nd Deleuze Studies in Asia Conference 2014 in Osaka, (招待講演)
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 千葉雅也
2. 発表標題 強度・空間・時間
3. 学会等名 第37回日本精神病理学会シンポジウム「強度の精神病理」（招待講演）
4. 発表年 2014年

1. 発表者名 江川隆男・千葉雅也（対談）
2. 発表標題 江川隆男『アンチ・モラリア 器官なき身体 の哲学』
3. 学会等名 ドゥルーズ科研合同研究会 '14（招待講演）
4. 発表年 2014年

〔図書〕 計35件

1. 著者名 檜垣 立哉、小泉 義之、合田 正人	4. 発行年 2019年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 512
3. 書名 ドゥルーズの21世紀	

1. 著者名 檜垣 立哉	4. 発行年 2018年
2. 出版社 世界思想社	5. 総ページ数 201
3. 書名 食べることの哲学	

1. 著者名 小泉義之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 256
3. 書名 あたかも壊れた世界	

1. 著者名 ジル・ドゥルーズ、國分 功一郎、長門 裕介、西川 耕平	4. 発行年 2018年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 384
3. 書名 基礎づけるとは何か	

1. 著者名 千葉 雅也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 296
3. 書名 意味がない無意味	

1. 著者名 千葉雅也	4. 発行年 2018年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 256
3. 書名 思弁的实在論と現代について	

1. 著者名 國分功一郎	4. 発行年 2018年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 116
3. 書名 スピノザ『エチカ』 2018年12月 (100分 de 名著)	

1. 著者名 ジル。ドゥルーズ 訳者 檜垣立哉・小林卓也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 175
3. 書名 『ベルクソニズム』	

1. 著者名 平井・安孫子・藤田編	4. 発行年 2017年
2. 出版社 水声社	5. 総ページ数 384 檜垣は分担99-111
3. 書名 ベルクソン『物質と記憶』を診断する 時間経験の哲学・意識の科学・美学・倫理学への展開	

1. 著者名 Ed,Abiko	4. 発行年 2018年
2. 出版社 OLMS	5. 総ページ数 279
3. 書名 Mecanique et mystique,Les deux sources dans le Begsonisme de Deleuzeを担	

1. 著者名 小泉義之	4. 発行年 2017年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 285
3. 書名 『あたらしい狂気の歴史 精神病理の哲学』青土社、	

1. 著者名 合田正人	4. 発行年 2017年
2. 出版社 筑摩書房	5. 総ページ数 259
3. 書名 『入門ユダヤ思想』	

1. 著者名 千葉雅也	4. 発行年 2017年
2. 出版社 文藝春秋	5. 総ページ数 237
3. 書名 『勉強の哲学 来たるべきバカのために』	

1. 著者名 國分功一郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 330
3. 書名 『中動態の世界 意志と責任の考古学』	

1. 著者名 Ed. Tony See, Joff Bradley	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Palgrave	5. 総ページ数 161
3. 書名 Deleuze and Buddhism 檜垣は第四章を担当Kenji Miyazawa and Takaaki Yoshimoto	

1. 著者名 上野修、米虫正巳、近藤和敬	4. 発行年 2017年
2. 出版社 以文社	5. 総ページ数 452
3. 書名 『概念の倫理・主体の論理 20世紀フランスのエピステモロジーとスピノザ主義』	

1. 著者名 國分功一郎	4. 発行年 2017年
2. 出版社 医学書院	5. 総ページ数 335
3. 書名 『中動態の世界 意志と責任の考古学』	

1. 著者名 アンリ・ベルクソン 翻訳合田正人	4. 発行年 2016年
2. 出版社 筑摩学芸文庫	5. 総ページ数 240
3. 書名 笑い	

1. 著者名 檜垣立哉	4. 発行年 2015年
2. 出版社 人文書院	5. 総ページ数 282
3. 書名 『日本哲学原論序説』	

1. 著者名 ヴィヴェイロス・デ・カステロ 翻訳 檜垣立哉・山崎吾郎	4. 発行年 2015年
2. 出版社 洛北書店	5. 総ページ数 379
3. 書名 『食人の形而上学 ポスト構造主義的人類学への道』	

1. 著者名 春日直樹編 共著 第二章p39-p58を執筆	4. 発行年 2016年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 337
3. 書名 『科学と文化をつなぐ』	

1. 著者名 合田正人	4. 発行年 2015年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 674
3. 書名 『フラグメンテ』	

1. 著者名 ジル・ドゥルーズ 國分功一郎監訳	4. 発行年 2015年
2. 出版社 河出書房新書	5. 総ページ数 DVD
3. 書名 ジル・ドゥルーズの「アベセデーレ」 (<DVD>)	

1. 著者名 國分功一郎	4. 発行年 2015年
2. 出版社 筑摩新書	5. 総ページ数 256
3. 書名 近代政治哲学:自然・主権・行政	

1. 著者名 檜垣立哉 (編者)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 勁草書房	5. 総ページ数 236
3. 書名 『バイオサイエンス時代から考える人間の未来』	

1. 著者名 Corinne Enaudeau et Frederic Fruteau de Laclos (編)	4. 発行年 2015年
2. 出版社 Encre Marine	5. 総ページ数 300, 檜垣の章は145-162
3. 書名 Difference, differend, Deleuze et Lyotard, Visage, affectivite; et figureの章を執筆	

1. 著者名 澤田直編	4. 発行年 2015年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 385 檜垣の章は269-309
3. 書名 『サルトル読本』 「サルトルとドゥルーズ」執筆	

1. 著者名 Bogue, Chiu, Lee 編	4. 発行年 2014年
2. 出版社 Cambridge Scholars Publishing	5. 総ページ数 檜垣はCap3 p.48-72の執筆
3. 書名 Deleize and Asia, Cap3	

1. 著者名 ニコラス・ローズ 編訳檜垣立哉	4. 発行年 2014年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 496
3. 書名 『生そのものの政治学』	

1. 著者名 小泉義之	4. 発行年 2014年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 378
3. 書名 『ドゥルーズと狂気』	

1. 著者名 合田正人	4. 発行年 2014年
2. 出版社 河出書房新社	5. 総ページ数 288
3. 書名 『思想史の名脇役たち』	

1. 著者名 上野修	4. 発行年 2014年
2. 出版社 講談社	5. 総ページ数 309
3. 書名 スピノザ『神学政治論』を読む	

1. 著者名 國分功一郎 大竹弘二	4. 発行年 2015年
2. 出版社 太田出版	5. 総ページ数 272
3. 書名 統治新論 民主主義のマネジメント	

1. 著者名 國分功一郎他	4. 発行年 2014年
2. 出版社 PLANETS	5. 総ページ数 39
3. 書名 ある高校の哲学的な一日 『哲学の先生と人生の話をしよう』	

1. 著者名 合田正人	4. 発行年 2015年
2. 出版社 法政大学出版局	5. 総ページ数 674
3. 書名 『フラグメンテ』	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	上野 修 (Ueno Osamu) (10184946)	大阪大学・文学研究科・名誉教授 (14401)	削除：2019年6月17日
研究分担者	小泉 義之 (Koizumi Yoshiyuki) (10225352)	立命館大学・先端総合学術研究科・教授 (34315)	削除：2019年6月17日
研究分担者	合田 正人 (Gouda Masato) (60170445)	明治大学・文学部・専任教授 (32682)	削除：2019年6月17日
研究分担者	國分 功一郎 (Kokubun Kouichiro) (70515444)	東京工業大学・リベラルアーツ研究教育院・教授 (12608)	削除：2019年6月17日
研究分担者	千葉 雅也 (Chiba Masaya) (70646372)	立命館大学・先端総合学術研究科・准教授 (34315)	削除：2019年6月17日

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	近藤 和敬 (Kondou Kazunori) (90608572)	鹿児島大学・法文教育学域法文学系・准教授 (17701)	削除：2019年6月17日